

2026年4月9日

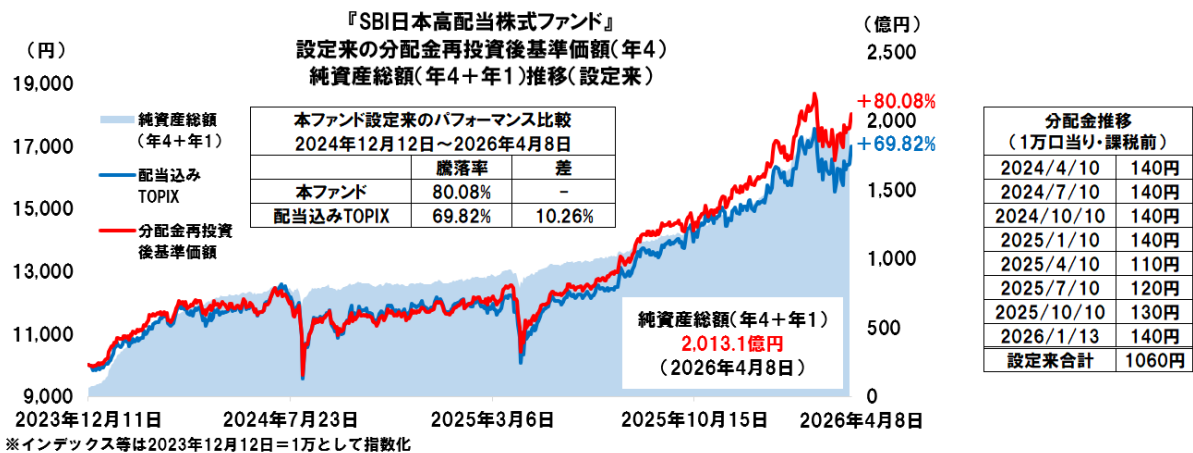
各位

会社名 SBIグローバルアセットマネジメント株式会社
 (コード番号 4765)
 (上場取引所 東京証券取引所 プライム市場)
 代表者 代表取締役社長 朝倉 智也
 開示責任者 常務執行役員 CFO 小笠原 靖行

『SBI日本高配当株式ファンド』年4回決算型および年1回決算型
 純資産総額合計 2,000 億円突破のお知らせ
 — 設定からわずか2年強、“成長”と“分配”を目指す運用が支持拡大 —

当社子会社であるSBIアセットマネジメント株式会社が設定・運用する『SBI日本高配当株式(分配)ファンド(年4回決算型)』(以下「分配型」)および『SBI日本高配当株式ファンド(年1回決算型)』(以下「成長型」)の純資産総額の合計が、2,000億円を突破いたしました。

分配型は、公募の国内株式型で高配当を目指すファンドの中で第3位^{※1}の純資産規模となり、上位3本の中では設定からの運用期間が最も短い商品でありながら、急速に支持を拡大しています。2023年12月12日の設定来、わずか2年強で騰落率^{※2}+80.08%を実現し、配当込みTOPIXを10.26%上回る実績を挙げております。2026年年初来騰落率^{※2}も+10.91%と堅調に推移しているほか、過去8回の決算^{※3}では計1,060円を分配し、平均分配率^{※4}は5.3%となっております。



また、2025年9月26日設定の成長型も、設定来騰落率+23.58%と良好な実績を示しております。

日本経済のデフレ脱却の進展や企業業績の回復、ガバナンス改革の深化等を背景に増配銘柄が注目を集めるとともに、新政権への政策期待の高まりから日本株式市場全体が堅調に推移する中、両ファンドは高い配当利回りに加えて、株価上昇が見込まれる銘柄を厳選することで「分配」と「成長」の両立を追求する点を特長としています。こうした運用方針が投資家の皆さまから評価され、支持の拡大につながっていると認識しております。さらに、信託報酬は年率0.099%と、アクティブファンドでありながらインデックスファンドを含む国内株式型ファンドの中で最低水準^{※5}を実現しています。

当社グループは今後も「顧客中心主義」を徹底し、低コストで良質な運用戦略を提供することで、投資家の皆さまの最適な資産形成に貢献してまいります。

以上

※1: 国内公募追加型株式投信 (ETF 除く) のうち、2026年3月末時点で国内株式型に属し、ファンド名に「配当」を含むファンドが対象。残高は3月末時点。ウエルスアドバイザー株式会社のデータを基にSBIアセット調べ。

※2: 分配金(税引前)再投資ベースの基準価額騰落率(2026年4月8日時点)。

※3: 年4回の決算時に分配を行うことを目指しますが、毎決算時の分配金のお支払いを保証するものではありません。

※4: 過去の分配金総額の平均額の年4回換算分の当初募集価額(1万円)に対する比率。

※5: 公募投信(ETF、DC・SMA専用ファンドを除く)として、ウエルスアドバイザーHPよりSBIアセット調べ(2026年4月8日時点)。